



新生町4丁目に新設された新生交番

長年の要望が実を結ぶ

～新生交番開所式～

1月8日(水)、新生町4丁目の道道上登別・室蘭線沿いに新たに設置された室蘭警察署新生交番の開所式が、関係者など20人が出席して行われました。

この交番は、地域からの設置要請を受け、市が平成7年度から最重点要望として国や北海道などに働きかけた取り組みが実を結び、市内で5カ所目の交番として、昨年12月27日(金)から業務が開始されたものです。

この交番の所管は、新生町、美園町、鷺別町、若草町、富岸町など約8,000戸、2万2,000人が居住する区域で、署員9人が3交代の24時間体制で地域の治安維持にあたりま

す。開所式で、川口好隆室蘭警察署長は「地域のパトロールなどを強化したい」とあいさつ。上野市長は「地域住民が待ち望んだ交番。安全なまちづくりのためにご協力を」と述べました。

また鷺別交番は、今後『鷺別連絡所』として日中は警察官が配置されます。



あいさつする川口室蘭警察署長

火災や災害のないまちへ決意新た

～消防出初式～

1月7日(火)、市民会館で『平成15年登別市消防出初式』が行われました。

出初式には、女性団員7人を含む消防団員をはじめ、



陸上自衛隊幌別駐屯地の消防ポンプ班、消防職員の総勢150人と消防車両8台が参加。分列行進で入場し、上野市長の観閲を受けました。

昨年の市内の火災発生件数は、平成13年の16件から19件へと増加しているだけに、参加者は、火災や災害のない安全なまちづくりへ決意を新たにしました。

良き年にと願いを込めて、ソイヤ!

～干支みこし～

1月1日(水)、中央町の幌別小学校正門かららいは公園(登別中央ショッピングセンター・アーニス横)までの約400mを『干支みこし』が繰り出し、新年の景気付けを行いました。

この干支みこしは、市民などでつくるまちづくりグループ『のぼりべつ干支みこし会』が毎年行っているもので、除夜の鐘に合わせてスタート。小雪のちらつく氷点下の中、法被にねじり鉢巻姿のメンバー約70人が今年の干支・羊などを飾った手作りのみこし5基を威勢よく担ぎ、沿道に詰めかけた市民とともに、良い年を祈願しました。



健康食、お味も好評

～ヤーコンとダッタンソバの試食会～



12月18日(水)、市が農業の普及・振興を目的に市民農園で試験栽培したヤーコンとダッタンソバの試食会が市民会館で開かれました。

ヤーコンは、高血圧や高血糖などに効果があるといわれるオリゴ糖やポリフェノールなどが豊富に含まれ、また、ダッタンソバにはビタミンやミネラルをはじめ高血圧や動脈硬化に効果をもつルチンが多く含まれ、いずれも健康食として注目の食材です。

試食会には、ヤーコンのきんぴらや甘酢漬、ダッタンソバのかけそばなどが用意され、農業者、商工業関係者、市民農園の利用者など約150人が試食。『おいしい』や『思ったよりおいしい』の感想が多く寄せられ、上々の評判でした。

市は、今年も市民農園で試験栽培するほか、作付けを希望する農業者などへの種、株のあっせんや栽培技術の指導などを行う予定です。